



The Admissions Office

Offering the choice of colleges from the world map

早稲田大学の導入事例

The Admissions Office

目次

01 The Admissions Officeの概要

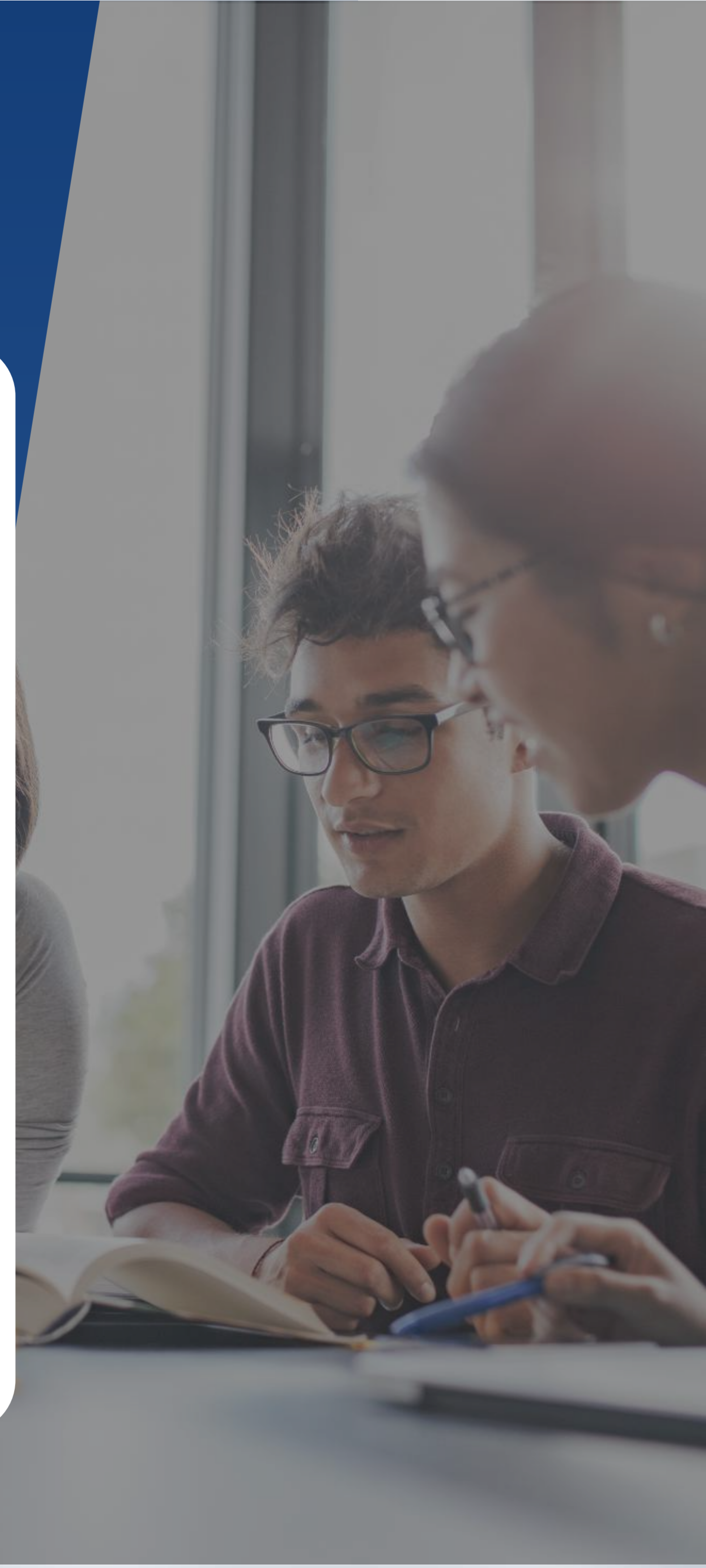
- 02 The Admissions Office(TAO)とは？
- 03 TAOの目指すビジョン
- 04 TAOを導入するメリット
- 05 機能紹介
- 06 導入実績のご紹介

07 早稲田大学様の導入事例レポート

- 08 早稲田大学の抱えていた課題
- 09 導入の決め手
- 10 導入効果

11 おわりに

- 12 運営企業・サービスに関する問い合わせについて



— *OVERVIEW*

The Admissions Officeの概要

OVERVIEW

01



The Admissions Officeとは？

The Admissions Office(以下TAO)とはWeb入試全般を担うクラウドコンソーシアム型システムです。願書提出の手続きから合格発表まで、教育機関のアドミッション業務全般を一括管理することで**大学職員の事務負担軽減**や、**学生にとっては学校選択の可能性拡大**、**入試出願に関する負担軽減**などを実現します。

TAOの目指すビジョン

TAOが目指すのは世界標準の“コンソーシアム”システム

アメリカをはじめ世界の多くの大学では、願書提出、選考書類の提出、合格発表など、あらゆる入試関連手続きは全面的にオンライン化され、共通のWebフォームを用いて一括管理できるのが一般的です。

各大学が共通のコンソーシアムシステムを利用しているため、国内外の志願者は1つのWebフォームから複数の大学に出願をすることができます。しかし、アジアにはまだこのようなシステムが存在しません。

TAOは今後、多くの大学と連携してフォームの共通化を進め、アジアの大学のための入試コンソーシアムを形成し、プラットフォームとして常に進化していきます。

TAOを導入するメリット

入試関連業務コスト削減

問い合わせ対応や志願者データの入力集計作業など人力で行っていた作業時間が大幅に軽減されます。また郵送対応などもすべてペーパーレス業務に移行できるので郵送費や個人情報書類管理等の物的コストも削減可能です。

システム投資コスト削減

クラウドサービスなので一から開発するよりも極めて低コスト。また、学部ごとに出願フォームのカスタマイズが可能で柔軟性が高い上、参画大学の声をもとに機能のアップデートが追加費用無しで随時行われます。

志願者の幅が世界中に拡大

世界中で利用されているコンソーシアムシステムと同じような仕組みであり、さらに日英対応となっているため、国内学生はもちろん、外国人留学生の増加を期待することができます。

機能紹介



オリジナルフォーム

作成複雑な出願書類でも自在にオンライン化できる高機能なフォームエディタをご用意しています。



推薦状機能

志願者本人がシステムを使って推薦者にオンラインで申請を出すことができる機能。推薦状の項目も自由に設定することが可能です。



ダウンロード/エクスポート

志願者の情報を PDF や CSV 形式で一括ダウンロードすることが可能です。ダウンロードした情報は、貴学でお使いの既存管理システムにインポートすることもできます。



合否発表/メッセージ機能

志願者への一括メッセージの送信や、個別のメッセージ送受信が可能です。合否発表業務の負担軽減やコミュニケーションコストを削減することができます。また、受験票の発行も可能です。



細かな権限設定

学部や募集ごとに管理者の閲覧・編集等の権限を設定することができます。システムのセキュリティ対策はもちろん、人的な情報漏洩を未然に防ぐ仕組みが導入されています。



レスポンシブ

デバイスサイズによりレイアウトが可変となるレスポンシブデザインを採用しております。学生はお持ちのスマートフォンやタブレットからも願書の申請を行うことが可能となります。

導入実績のご紹介

TAOコンソーシアムへの参画校は拡大中
ご利用校数が増えるほど、学生・学校両者の利便性が
高まっています。

TAOは、日本中の大学・専門学校に導入されています。



早稲田大学



総合研究大学院大学



芝浦工業大学



京都先端科学大学

REPORT

早稲田大学様のTAO導入事例レポート

なぜ早稲田大学はTAOを導入したのか？

07

REPORT

早稲田大学の抱えていた課題

1 加速する国際化

2032年までに外国人留学生数を1万人にする目標を掲げている早稲田大学は志願者の国際化への対応が急務でした。

- 全13学部のうち6学部では、日本語授業に加えて、英語授業によって学位が取得できる「英語プログラム」が設けられており、9月入学AO入試では、2014年度では806名だったのが、2019年度には1,693名と、5年で2倍以上に増加。
- 国際教養学部のように原則英語で授業が行われている学部もあり、2018年の留学生数は5,412人。留学生の出身国・地域数は111カ国・地域にも上る。（※1）



国際化が加速する状況で、海外の志願者に対して国内入試の従来型運用である書面郵送での出願受付を展開し続けることは、限界を迎えつつありました。

※1：早稲田大学留学センター「早稲田大学外国人学生在籍数（2019/11/01 現在）」 https://www.waseda.jp/inst/cie/assets/uploads/2020/02/20191101_jp.pdf

早稲田大学の抱えていた課題

2

学部・研究科ごとに細分化された入試プロセス

学部・研究科独自のルールが存在し、標準化が難しい状態に。

- 入試方式の検討には出願システムやこういった出願書類を揃えるのか、といった細部の事項まで学部・研究科単位で決定。（例：同じ書類の提出要件に関して、A学部では「厳封していないとならない」、B学部では「先生のサインがあればコピーでも構わない」など）
- 志願者をサポートする高校の受験担当者にとっても管理、確認のコストが大きい状態。



同じ大学の入試プロセスにも関わらず学部・研究科ごとに細分化され、早稲田大学への出願を後回しにされてしまう原因になっていました。

TAO導入の決め手

学部の個別要件にも対応できる柔軟な機能

- 学部ごとの個別要件にあわせてシステムを一から開発していたらコストが膨大にかかってしまうが、TAOには柔軟に可変できる募集フォーム作成機能があり、複数フォームを作成することもできるのが魅力。

クラウドサービスならではのシンプルな料金体系

- 導入時の初期費用、年度ごとにかかるシステム使用料が大学単位で課金され、学部・研究科単位の追加課金はない。
- 初期費用と年間システム料以外は、出願件数1件につきかかる手数料のみ。

導入効果

1 多様な志願者の獲得

TAOは世界標準型のオンライン出願を可能にするため、海外の志願者に出願を躊躇させず、多くの志願者獲得につながられます。

また、紙ベースからの脱却は、各国・各高校の志願者をサポートする職員の期待に応えることにもなります。

導入効果

2 各種業務コストの削減

紙ベースの管理でかかっている印刷や郵送のコストの削減はもちろん、業務コストの低減、とくにシステム部門担当者の負荷軽減によるメリットが大！

入試担当者のみで募集フォームの作成・更新が可能なので、基本的に実運用段階になれば、システム部門担当者が保守や運用で対応する必要がほぼなくなり、大幅な業務コスト削減効果につながります。

導入効果

③ クイックなPDCAサイクル実現と学内全体のノウハウ共有

入試担当者のみで募集フォームの作成・更新ができるので、学部・研究科、入試方式単位で素早くPDCAを回して改善できます。

TAOは、一旦作成した募集フォームを他の学部・研究科へコピーして渡せるので、一部の学部でスモールスタート、検証した後に学校全体へスピーディーな拡大が可能です。

早稲田大学様も一部学部・研究科の段階的な導入からスタート。

学内でのノウハウ共有が簡便なため、早稲田大学全体の入試プロセス改善へ確実に繋がります。

—— おわりに

世界標準の“コンソーシアム”システムへ向けて

おかげさまで、TAOを導入いただける学校は続々と増えています。

同時にTAOは、導入いただいた大学からのフィードバックを受け日々機能アップデートを続けています。

TAOは学校・志願者両者の負担を軽減し、日本の大学と世界中の学生をつなぐ架け橋となるサービスです。今後も良質なサービスを追及するとともに、ゆくゆくは日本だけではなくアジアも含めた多くの大学で利用され、アジアのオンライン出願システムのプラットフォームとなるよう、規模を拡大させていく所存です。

変えよう、アドミッション。はじめよう、教育アップデート。

株式会社アドミッションズオフィス（サマデイグループ）

会社概要

本社

〒102-0085 東京都千代田区六番町12番地6

設立年

2006年

代表者

相川 秀希

事業

教育コンサルティング事業 教育システム企画・
開発事業 次世代教育事業

お問い合わせ先

MAIL

info@admissions-office.co.jp

WEB SITE

<https://admissions-office.info/>

資料請求はこちら >>

